

# 南山大学研究データポリシー

南山大学（以下「本学」という。）は、キリスト教世界観に基づき、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって人間の尊厳を尊重かつ推進する人材を育成することを目的とし、高度な学術研究の推進に取り組んでいる。このため本学は、研究活動によって得られた成果を蓄積し、さらなる学術研究の発展と地域社会・国際社会への知の還元を進めるにあたり、研究活動の過程で得られる研究データの管理・公開・利活用についての原則を以下のとおり定める。

## （研究データの定義）

1. 本ポリシーが対象とする研究データとは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集または生成された情報を指し、デジタルであるか否かを問わない。

## （研究データの管理）

2. 研究データの管理、公開および利活用の方法は、それを収集または生成した者が、法令および本学の規程等の範囲内ならびに他の者の権利および法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

## （研究者の責務）

3. 研究者は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

## （大学の責務）

4. 本学は、研究データの管理、公開および利活用を支援する環境を研究者に提供するものとする。

## （その他）

5. 社会や学術環境の変化に応じて、適宜、本ポリシーの見直しを行うものとする。

## （事務）

このポリシーに関する事務は、研究推進課の担当とする。

## （改廃）

このポリシーの改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

## 附 則

このポリシーは、2026年4月1日から施行する。